

NST NEWS 第4号

発行日：令和5年8月25日

発行：宍粟総合病院 NST



経腸栄養施行中に下痢が発生すると、患者に不快感を与え、栄養素や水分・電解質の喪失をともない病態が増悪するおそれがあります。下痢が発生したら、12のチェックポイントで原因を探し、適切な対処に努めましょう。

経腸栄養と下痢 12のチェック!項目

- ① **絶食期間はありましたか。** 絶食によって腸管粘膜の萎縮や腸内細菌叢の乱れが起こります。
- ② **投与量は多くありませんか。** 経腸栄養を始める時は投与予定量の1/3~1/2量に。
- ③ **投与速度は速くありませんか。** 標準的な投与速度は、胃は200ml/h、空腸は100ml/h。空腸の投与開始は20ml/hから徐々の投与速度を上げて100ml/hに。
- ④ **栄養剤の温度は低くありませんか。** 室温に戻して投与しましょう。
- ⑤ **栄養剤の浸透圧は高くありませんか。** 浸透圧の高い栄養剤は浸透圧性の下痢を起こす場合があります。
- ⑥ **食物繊維は入っていますか。** 食物繊維を別途投与するか、あらかじめ食物繊維が添加されている栄養剤に。
- ⑦ **栄養剤に乳糖は入っていませんか。** 現在市販されている経腸栄養剤には、ほとんど含有されていません。
- ⑧ **栄養剤の脂肪は多すぎませんか。** 脂肪含有量の多い栄養剤は下痢を起こす場合があります。
- ⑨ **細菌汚染はありませんか。** 栄養剤の調剤や器具の洗浄の際は細菌汚染に対する十分な注意と対策が必要です。
- ⑩ **抗菌剤の投与はされていますか。** 抗菌剤は正常な腸内細菌叢を著しく乱し、下痢の原因となります。
- ⑪ **細菌性の下痢ではありませんか。**
- ⑫ **下痢を起こしやすい薬剤の投与はありませんか。** 抗菌剤以外にも下痢を起こしやすい薬剤があります。

院内採用経腸栄養剤 浸透圧と濃度



NST からお知らせ

アイソカルサポート400とMAラクフィア400は似ているので、MAラクフィア400を1.0kcal/mlから1.5kcal/mlのものに変更します。

少量でエネルギーを確保したい方、水分制限が必要な方にご使用ください。

